

# 園だより

最終号  
R 4.3.18

大沢幼稚園園長 長友 六月

TEL (762) 4389 (代)

FAX (762) 4386

<http://www.ohsawa.ednet.jp/>

緊急連絡先 080-2344-7595

## 「よく遊び よく学ぶ」「試行錯誤することが生きる力」

新しくモノを生み出す力とは何か。粘土で遊ぶ子は、「つぶす、のぼす、ひっぱる、ねじる」それを繰り返しているうちに何かが見えてくる。金槌を持ち遊ぶ子は「とにかく打ち、端材同士をくっつけ」それを繰り返すうちに何かが見える。そのうちに、全く別な物をくっつけだすと、思いもよらないモノが姿を現す。くっつく、省くことを同時（洗練）に行い新しいものが完成する。果てしなく続くこの作業は、日本人が持ち合わせる、「モノ作り」の気質からきているようにも思えます。劇あそび会のお話作り、手具づくり、大道具作り、すべてがこの作業の中から生まれてくる総合的創作活動で、これこそが、人生教育と言えるでしょう。

さて、子どもの持つ創造性には確信を持てる一方で大人について話しましょう。「親の背をみて子どもは育つ」同じく「教師の背をみて子どもは育つ」と言っていていいでしょう。人は、「去年の通り・昨日の通り」という中では、安心していられるが、この気持ちに寄りかかっているだけでは、進歩や進化はしないし、良い成果は得られないでしょう。「昨日より今日は良いものを」とクリエイティブな気持ちを持つことが大切であります。未知なきものへの挑戦は失敗することもあります。失敗を恐れるならば、何もしなければよいこととなります。それでは、新しいモノは生まれてこないでしょう。「新しいモノが生まれる土壌や条件は何なのか」目の前の子どもを見ることで見えてくるように思えます。互いに切磋琢磨、「子ども心」も磨きたいものです。

## 「分かちあう心」 心の成長はどのように得られるのだろうか。人間にとって最も大切な

相手を思いやる心はどのように・・・きつと「人と人とのふれあい」「人と自然とのふれあい」によって得られるのでしょうか。時間に追われ、仕事や課題に追われ忙しくなったせいか人間的ふれあいが少なくなってきたのも事実でしょう。小さな事をみなで喜び、悲しみ、分かちあえる心を育てていきたい。

## 「言葉の力」 「言葉には足がある 使った言葉はそのまま歩きだす 冷たい言葉は人を傷

つけ悩ませる 温かい言葉は人を励まし幸せを呼ぶ 使った言葉は自分にそのまま戻ってくる人は使った言葉どおりの人生を歩む いい言葉で人生が変わる いい言葉で子どもは伸びる」

いい言葉は与えられるものではなく努力して求めればめぐり合えるものです。そして、言葉が考えをつくり、生きていく人生を豊かなものにしてくれます。この時期の会話や読み聞かせは一生の宝になります。子どもが自分で覚えた言葉で話しかけたとき・・・生きた言葉のやりとりを大切にしたいものです。

## 新しい環境への心構え

進学・進級をする、この時期は子ども達の成長が著しい時期です。(もう一回、10月から11月にも成長期があります)そして、保護者の皆さんにとっては、進学・進級はお子様の成長を実感できる出来ごとであると思います。親と子が成長の実感を共有できる素晴らしい時期です。さて、進級に伴い、担任の先生が変わったり、クラス替えがあったり、環境は大きく変化します。大好きな先生や仲のよい友だちと離ればなれになり、ショックをうけることもあるかもしれません。そんな時は、「年長さんになったら、新しいお友だちがいっぱいできるね」「〇〇先生はとっても優しくだね」など、新たな環境への期待をふくらませるようなサポートを親はする必要があります。新年度が始まり、お子様が環境の変化に十分に適応できたと確信するまでは、いつも以上に様子を見守ることを心がけましょう。

## 生活習慣を見直しましょう(今年は特に大事になります!)

(本人が自覚しているからこそ!いつするの“いまでしょ!!”)

進級は子どもにとっても気が引き締まるものです。これをよい機会として生活習慣を見直し、改善に結びつけましょう。例えば、寝る時間や起きる時間を決めたり、朝ごはんをしっかり食べるように約束したり、嫌いな野菜にチャレンジするように促したり(無理強いはいけません)テレビをダラダラと見る習慣がついてしまっていたら、「〇時から〇時までにしようね」と決めるのもよいでしょう。また、できるだけ本人が自ら決めたという意識を持つことが大事なので年齢や個性に応じた工夫(会話)を心がけましょう。

## 持ち物をチェックしましょう

園では基本的に持ち物に名前を書くのがルールですが、1年間使ううちに文字がかすれていたり、ネームシールがはがれていたりすることがあります。全ての持ち物を見直して、名前がはっきりと確認できるようにしましょう。制服や手提げ袋などは洗濯だけでなく、ほころびを直すなどしてきれいにしましょう。そろそろ作り直したり、買い替えたりしようと思っていた場合は、せっかくの機会なので新調するのもよいかもしれません。持ち物を整えることで、子どものやる気を押し上げる一助になるはずです。

## 進級のお祝いをしましょう

入園や入学といった大きな節目と違い、進級のお祝いをする家庭は少なくなっているようです。子どもにとっては大きな変化なので、ぜひお祝いをしてあげてください。食事の時に家族が「おめでとう!」と伝えたり、ほしいと言っていた本や文房具類をプレゼントしたり、成長を祝う気持ちを伝えるだけでも効果抜群です。自身の成長への自覚がますます深まり、少々の壁は乗り越えようとがんばる気持ちが湧いてくること間違いなしです。

**〇退職(異動)する職員のお知らせ** 年長児を送り出し、退職する職員を送り出すこの時期は寂しい思いをしますが、大沢幼稚園を巣立ち、さらに活躍していかれることと確信して送り出したいと思っています。保護者の皆様方にも多くのご支援いただき、ありがとうございました。

(退職) 恩田祥孝先生 片野敦美先生 山崎優子先生

(太陽の子幼稚園へ) 渡边角男さん